

特集

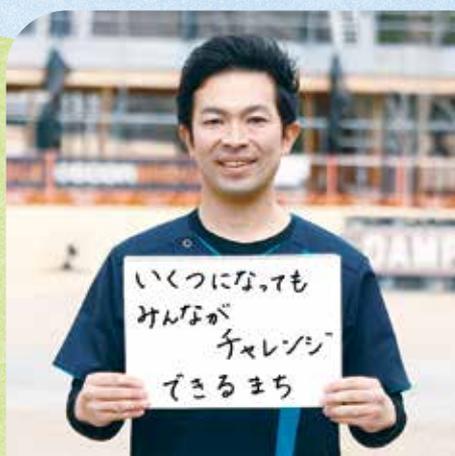
# みんなのまちの「10年後」

～第6次茨木市総合計画がスタート！～

4月から、今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第6次茨木市総合計画」がスタートします。

下の写真では、総合計画審議会の市民委員や、市民ワークショップ参加者の皆さんなどに「10年後どんなまちになってほしいか」を聞いてみました。皆さんも一緒に考えてみませんか。

問合せ先 政策企画課 ☎620・1605



# 総合計画はまちづくりの指針

Q1

## 総合計画って？

今後10年間のまちの姿や、まちづくりの進め方を示す、**まちの道しるべ**です。健康・福祉、子育て、産業など、暮らしに関わることや、魅力あるまちづくりを進めるための取組をまとめています。

Q2

## なんのためにあるの？

まちのあり方を市民の皆さんや、事業者、大学、行政など、多くの人と共に考え、共有し、**魅力あるまちであり続ける**ためにあります。



Q3

## どうやってつくったの？

令和5年度に「市民アンケート」を行い、「幸せや不満に感じること」「暮らしたいまちの姿」など、市民の皆さまのまちに対する想いを聴きました。「まちの未来を語り合う市民ワークショップ」には延べ107名に参加いただき、アンケート結果をもとに、まちの将来像を話し合ってもらいました。それらの意見をまとめた素案を作成し、さらに、市民委員や学識者などが参加した「総合計画審議会」で話し合いを重ねるなど、多くの人の想いをもとにつくりました。



市民ワークショップの様子

## 市民の声

-  人々が助け合い  
支え合えるまち
-  周りと協力して  
子育てできるまち
-  みんなでスポーツ  
観戦できるまち
-  災害時に地域で  
助け合えるまち
-  内からも外からも  
アクセスしやすいまち
-  自然を身近に感じて  
暮らせるまち
-  人と人との交流が  
望んだ時にできるまち

「市民アンケート」や「市民ワークショップ」では多くの人が「つながり」を求めていることがわかりました

「幸せや不満に感じること」について、読者アンケートにぜひご回答ください。▶38ページ

# 共創のまちづくり

市民ワークショップでは、多くの人が「つながり」を求めていることがわかり、さらに本市には、多様な人が集い、活動するおにクルが生まれました。

おにクルを「共創の中心地」として、多彩な出会いがあり、新たな共感や活動が生まれる中で、みんなが安全安心・豊かさ・幸せを実感できるような「共創」のまちづくりを広げていきます。「共創」とは、さまざまな活動が掛け合わさることで、相乗効果により新たなモノやコトが生み出される取組です。

## 共創のまちづくりの姿

- 活動人口が増えるまち…人口減少を迎えても活動する人が増えることで、まちの活力が維持・増大する。
- 新たな活動が景色となるまち…人々が出会い、つながる場が各地に展開され、多彩な活動が見られる。
- あらゆる分野・施策がつながるまち…共通のテーマに対して、各主体の専門性やつながりが掛け算され、多様なアプローチが試みられることで、相乗効果が生まれる。

## 『共創』の実例

避難訓練（安全・安心の取組）に多くの方に参加いただくため、複数の主体がアイデアを出し合い、音楽活動（文化・芸術の取組）とかけ合わせた「避難訓練ファミリーコンサート」が誕生しました。

芸術鑑賞 **×** 実践的な避難訓練



新たなコトが誕生

避難訓練ファミリーコンサート



## 「次なる茨木」における「共創」のポイント

**1 きっかけと自己実現**

「楽しい」「やってみたい」「学びたい」といったモチベーションが様々な活動のきっかけになり、自己実現へとつながります。



**2 豊かさ・幸せ**

1人では思いつかなかった新しいモノやコトが生まれ、関わりやつながりを通じて豊かさや幸せが向上します。



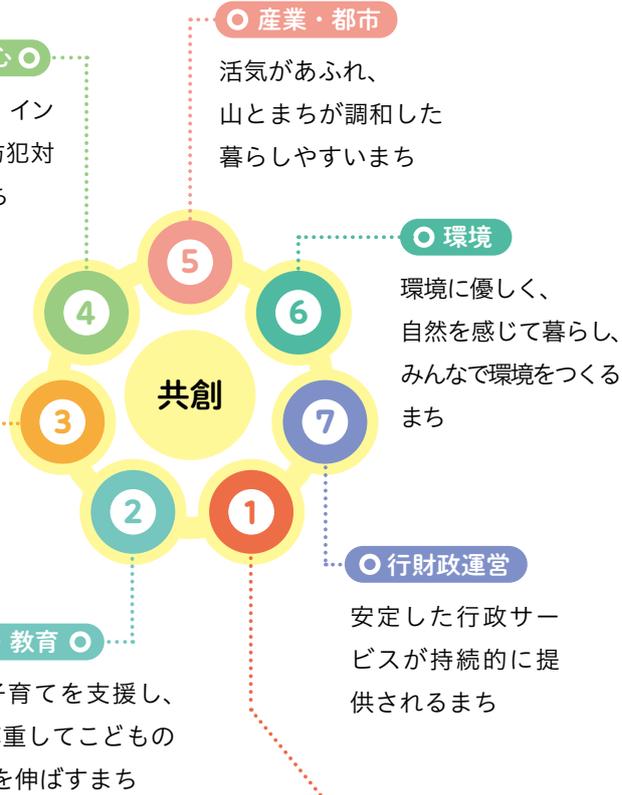
**3 「共有」と「共感」**

新たなモノやコトを生み出すプロセスを共有する中で、お互いの価値観に共感が生まれ、さらなる共創へとつながっていきます。



# 7つの『まちの将来像』

共創のまちづくりを進め、多彩な幸せを実感できるまちにするため、生活に身近な7つの分野におけるまちの将来像を設定しました。各将来像は分野の枠組みを超え、横断的に取り組んでいくものです。



**安全・安心**  
災害に強い都市基盤・インフラがあり、防災・防犯対策が充実しているまち

**産業・都市**  
活気があふれ、山とまちが調和した暮らしやすいまち

**環境**  
環境に優しく、自然を感じて暮らし、みんなで環境をつくるまち

**文化・市民活動**  
何歳になっても文化やスポーツを学び、楽しみ、お互いを認め合えるまち

**行財政運営**  
安定した行政サービスが持続的に提供されるまち

**子育て・教育**  
地域で子育てを支援し、個性を尊重してこどもの「好き」を伸ばすまち

例えば

**健康・福祉** 分野の将来像では

- **つながりを大切に、ともに支え合えるまち**  
地域交流を促進し、相談体制を整備します。
- **いきいきと日常を過ごせるまち**  
誰もが社会参加に壁を感じず、やりたいことができるまちをめざします。
- **いつまでもすこやかに安心して暮らせるまち**  
医療の充実や介護者負担の軽減等を進めます。



もどになった市民の声

声を掛け合い笑顔あふれるまちで暮らしたい

病気になっても安心して生活したい

高齢者も障害者も社会参加できるまちがいい

## 「総合計画」についてもっとくわしく知るには



計画の内容は「概要版」にもまとめ、市内各公共施設で配付します。

政策企画課 梅鉢

第6次茨木市総合計画概要版



総合計画概要版掲載ページ

## Interview 総合計画審議会に参加して

市民代表として総合計画審議会に参加し、誰もが読みやすく、誰一人取り残されない総合計画になるよう話し合いました。まちの将来像を知ること、暮らしに期待がもて、まちをもっと好きになれる気がします。一人ひとりの「好き!」「おもしろそう!」「やってみたい!」という思いがあふれ、形になるまちになるとよいですね。



市民委員 池木さん